

3月、対馬市立豆酸小学校は、150年の歴史に幕を閉じます。昭和22年に豆酸小学校となり、現在まで、2,243人が巣立っていきました。地域と歩んだ学校の歴史を最後の児童となった4人の子どもたちの学校への思いとともに振り返ります。



ありがとう 豆酸小学校

- 明治 8 年 私塾小茂田学区 久田部第五大学四中学区豆酸小学校と称する
- 19 年 6 月 豆酸簡易小学校と改称する（佐須瀬、浅藻に分校設置）
- 大正 6 年 11 月 校舎を新築する
- 9 年 5 月 豆酸実業補修学校を併設する
- 昭和 10 年 4 月 豆酸青年学校を併設する
- 22 年 4 月 豆酸村立豆酸小学校と改称する（学制改革）
- 31 年 4 月 小、中学校がそれぞれ独立校となる
- 31 年 9 月 巖原町立豆酸小学校となる
- 32 年 5 月 校舎を新築する
- 37 年 4 月 校区変更により瀬分校が久田校より本校の分校となる
- 43 年 5 月 幼稚園を併設する
- 51 年 2 月 創立百年祭行事を開催する。校歌を制定する
- 平成 12 年 4 月 新校舎落成・祝賀会（現校舎）浅藻小が廃校となり豆酸小に統合、複式学級が解消
- 20 年 4 月 瀬分校が廃校となり本校に統合
- 20 年 8 月 子ども海ごみフォーラム「漂着物を通じた三島間交流」で五島市立岐宿小学校と交流する
- 令和 7 年 8 月 赤米子ども交流会参加（種子島）
- 8 年 3 月 豆酸小、中学校閉校

対馬の小学校で唯一制服を採用

豆酸小学校の児童と一目でわかる特徴が、制服です。制服がいつから、どのように始まったのかは定かではありませんが、学校に残る最も古い、昭和33年度の卒業写真には、制服を着た6年生が写っています。卒業写真を見比べると、女子の制服は数回デザインが変更され、男子の制服も襟の形が変更されるなど、変化が見て取れます。豆酸小学校の卒業生の皆さん、皆さんが小学生の時はどんな制服でしたか？

制服について、現在の6年生に尋ねると、着るものを選ばなくていい反面、体を動かす時に動きづらいなど小学生らしい感想もありました。また、私服での学校生活に憧れもあるそうで、今年度は数回、私服登校日があり、学校生活を楽しんだようです。

昭和33年度 第12回卒業生



昭和43年度 第22回卒業生



平成7年度 第49回卒業生



セーラー服からブレザーなど時代によってデザインが変化



令和5年の来校時には、感謝をこめて歓迎会を開いた

60年以上も学校に本を寄贈



小学校の図書館には「永尾福康文庫」と書かれた書棚があり、様々なジャンルの本が並べられています。これは、昭和25年に卒業し、現在は大分県別府市で暮らす永尾福康さんが昭和36年から贈り続けている本です。永尾さんは、豆酸に本

屋がなく、本を読むのに苦労してきた自身の経験から、本を贈ることを決心し、64年という長い期間にわたって、本の寄贈を続けてきました。永尾さんは、帰省のたびに学校を訪れ、子どもたちと交流を行うなど、本を贈ることを通して生まれる地域とのつながりを楽しみにされていました。

地域の宝を後世につなげる

豆酸小学校は、豆酸地区で長く栽培が続けられてきた赤米と平成25年に、赤米の宮中献穀事業へ参加したことがきっかけで関わりを持つようになりました。以来、赤米についての学習を行うとともに、赤米の栽培が残る岡山県総社市、鹿児島県南種子町とともに赤米を通じた交流事業を行ってきました。昨年7月には、鹿児島県の種子島を訪れ、現地の子



赤米子ども交流会〈種子島〉(令和7年8月)

令和4年には、休止されていた赤米神田での米作りに代わり、学校内でバケツによる栽培に挑戦し、約半年間校内で栽培に取り組み、見事収穫することができました。子どもたちの活動は、豆酸地区の人たちの行動を呼び起こし、令和6年には、赤米神田での米作りが再開し、地域の人たちや豆酸小中学校の子どもたちが米作りに取り組んでいます。



閉校とともに巣

豆酸小学校最後の
4人の児童は全員が6年生で、閉校とともに
この学校を巣立ちます。6年間を過ごした
学び舎が、彼らにどのように映っているのか、
一人ずつお話を伺いました。



4人のクラスはいつも笑いが絶えない



たかまつ しょう
高松 城くん

学校の思い出

僕は、食べることが大好きなので、学校生活で一番の思い出は、やっぱり「給食」です。6年間、色々なメニューがあって、どれがおいしかったか決めることはできないけれど、唐揚げは特に好きなメニューです。あと、対馬で獲れたあなごを使ったあなご丼が、タレがとてもおいしくて思い出に残っています。

ぼくの好きな場所

給食が好きな僕が選ぶ学校の好きな場所は、ランチルーム。学校にいる子どもたちと先生がみんなで集まって一緒に食べました。みんなで食べる給食は、おいしかったです。



学校へのメッセージ

僕たちがどんな学校生活を送ってきたのかを残した博物館になってほしい！

学校の思い出

僕は、豆酸と同じように赤米を育てている種子島に行き、交流会をしたことが一番思い出に残っています。最初は、初対面の人たちと話せるかどうか心配だったけれど、僕が好きなプロ野球の話をしたりして仲良くなり、色々な人たちと話すことができよかったです。交流会では、班ごとにおにぎりを握ったり、餅つきなどをして交流しました。同じ赤米でも地域によって様子や姿がちがっていたのでびっくりしました。

ぼくの好きな場所

僕が好きな場所は、体を動かすことが好きなので、昼休みによく遊んだ体育館です。4人でよくドッチボールをして遊びました。



たかまつ こう
高松 功くん

学校へのメッセージ

僕をここまで育ててくれてありがとう！



種子島宇宙センター

立つ子どもたち



音楽室の窓から見える豆酸の港



卒業生阿比留敏洋さんと一緒に作った壁画



くらなり りゅうせい
倉成 隆聖くん

学校の思い出

僕は、みんなで行った修学旅行が1番の思い出です。佐世保と長崎に行ったけれど、中でも、佐世保市の水族館でみたイルカショーが心に残っています。トレーナーさんの動きに合わせて、イルカたちが動く姿に驚いたり、4人で前に座って、時々水しぶきを浴びながら見たりして、とても楽しかったです。

ぼくの好きな場所

僕は、場所ではなくて、5年生の時の運動会です。あの時は、いつも踊っているそびき歌ではなくて、別の曲で初めて踊ることになって、振り付けを1から作り上げました。本番でお客さんの前で踊ってやり切った気持ちがとても心に残っています。



学校へのメッセージ

今までありがとう！また遊びに行くので待っていてね！

学校の思い出

私は、オーケストラの演奏会に行ったことが思い出に残っています。広島からきてくれた60人ほどのオーケストラを豆酸小中の生徒や先生、合わせて15人くらいで聴きました。演奏会では、客席だけでなく、演奏する人の隣で聞くことができたりして、色々な楽器が色々な音を奏でていることを感じる事ができました。途中、楽器を体験する時間があったのですが、初めてバイオリンに触れ、演奏させてもらうことができてとても嬉しかったです。

私の好きな場所

私は、今勉強している教室が好きです。1年生の時も、この教室を使って、たくさんの時間を過ごしました。教室にあるピアノをみんな弾いて遊んだりした楽しい思い出が詰まっています。



なご いちか
永尾 一華さん

学校へのメッセージ

また会う日まで、待っててください！



次号では豆酸中学校を特集します。